

山口新聞

平成28年1月29日(金)

NO.188

農地・水・環境

守ろう 地域の手で

当会のエリアは宇部市北部の中山間部の、周りを山に囲まれた大変静かな地域である。2012年に発足し、現在、約3・5㌶の斜面農地を耕作している。

「水路を大切に」

池の草刈り・メンテナンスと、鳥獣被害防護柵の見回りを月1回実施し、維持管理や補修などを共同で行っている。鳥獣被害は日頃の水路勾配がないため、先人達は大変苦労しちょうど明かりを頼りに水路を作ったと聞いている。これからも水路を大切にし、維持管理を継続していくたいと考えている。

(代表、熊野基義
〔金曜日掲載〕



会員の皆さん

伏付環境保全会（宇部市）



水路メンテナンスの様子

【メモ】代表：熊野基義
△会員：14人、農家（10戸）、伏付自治会△
設立：2012年4月1日△連絡先：宇部市西万倉2059、熊野基義さん、電話080-1941-9768

の維持管理に大変苦労している。今後、少子高齢化が進み、後継者不足から水路の維持管理が心配されるので、できる範囲で当制度を利用して水路を改修している。主な活動は会員による水路の草刈り・泥上げ、ため池の草刈り・メンテナンスと、鳥獣被害防護柵の見回りを月1回実施し、維持管理や補修などを共同で行っている。鳥獣被害は日頃の

会員の努力により、昨年のイノシシ被害は皆無だった。不在地主の農地は耕作者を探して作付け。草刈り管理してきた不耕作地には、コスモス、ヒマワリを植栽して、地域の環境保全活動を行っている。

当地域は水利に乏しく、水路勾配がないため、先人達は大変苦労しちょうど明かりを頼りに水路を作ったと聞いている。これからも水路を大切にし、維持管理を継続していきたいと考えている。